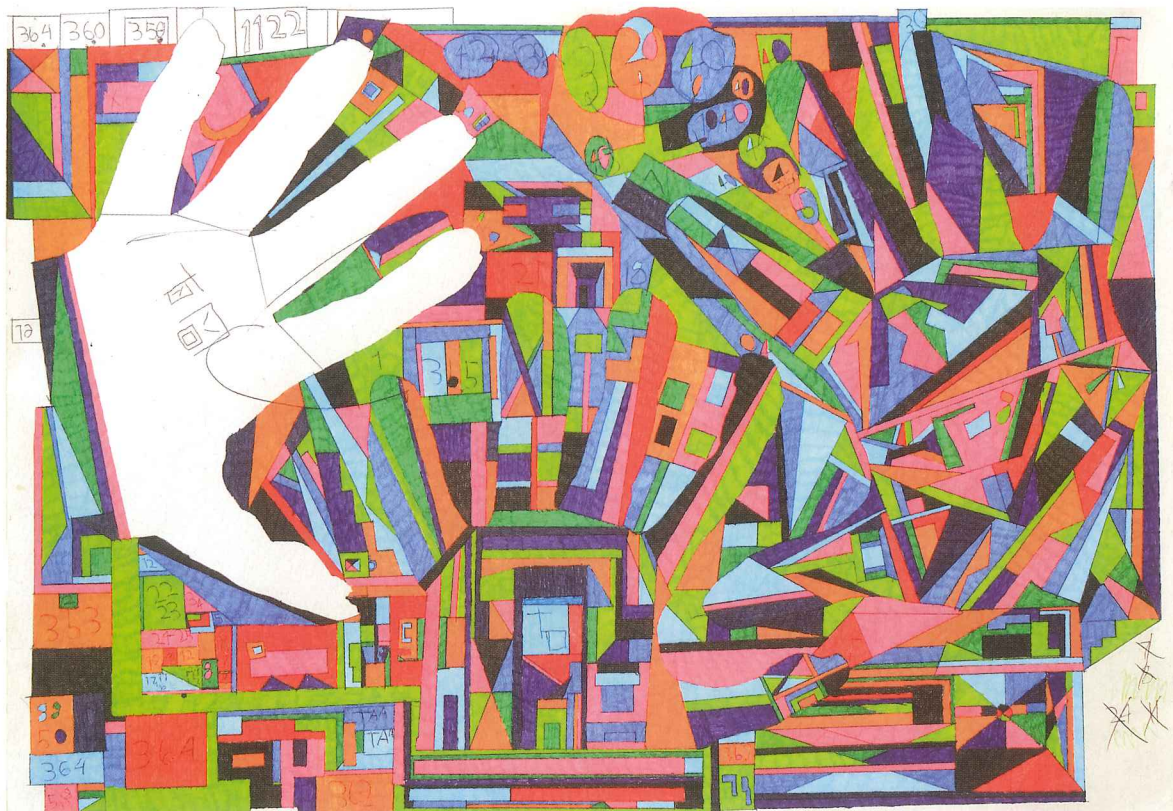


「バリア」の逆は「ありば」。  
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。  
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。  
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

# ありば

VOL. 24  
 2012



表紙／有川剛司さんの作品「お母さんの手」

0.7mmの細いカラーボールペンと定規を使い、色彩豊かで緻密な作品を描く有川さん(鹿児島市在住・22歳)。生活介護事業所「サポート明星」の絵画教室で絵の才能が開花。表紙の作品にはトロンブ・ルイユ(騙し絵)の技法が使われており、お母さんの手の他に、お父さんとおばあちゃんの手が隠されている。



## CONTENTS

**【特集】**  
 平成24年10月から障害者虐待  
 防止法が施行されました **PAGE 1**

ありばヒューマンドキュメント  
 有川 剛司さん **PAGE 3**

ありば通心  
 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校  
 「FSC(附特スポーツクラブ)」 **PAGE 4**

ハードルを越えて  
 富満 雅博さん **PAGE 5**

バリアフリー最前線  
 肥薩おれんじ鉄道 **PAGE 6**

鹿児島県からのお知らせ  
 身体障害者等のための自動車税・自動車  
 取得税の減免制度について  
 ところ・つむぎの会のご案内

